

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSOALA久留米校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月15日		～ 令和7年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の困り感、保護者様の悩みに寄り添い、きめ細やかに支援計画を作成し、日々の支援を行っております。また、お子様・保護者様に安心して利用していただける環境作りにも努めております。	定期的に面談を行ない、お子様の姿や課題点、保護者様の悩みなどをお伺いしております。また、保護者様への支援報告を日々丁寧に行なっており、視覚的にも分かりやすいよう写真などの画像を用いております。	必要なご家庭には定期的な面談以外にも相談の機会を提供しております。今後きめ細やかに対応し、ニーズに合わせた支援の充実、安心感に繋げて参ります。
2	活動内容を固定化せず、変化に富んでおります。幅広い活動を行なう中で、子ども達の五感を豊かにし、視野を広げたり社会性の育ちを目指しております。	子ども達の支援について職員間で意見を出し合い、活動内容を検討し、支援後は活動を振り返り、PDCAを行なっております。繰り返し同じ活動をすることで、子ども達の苦手さを軽減したり、得意を伸ばす事に繋がっております。また社内研修・社外研修で学んだことを現場で実践し、新しい活動を提案しております。それ以外にも職員一人一人が日頃からアンテナを張り、支援に活かせるものはないか考え、支援に取り入れております。	子ども達が楽しみながら様々なことを学べるよう、より良い活動の工夫を行い、PDCAサイクルを継続して参ります。
3	お子様が安心して利用できている、保護者様も事業所の支援に満足していると言う声が多くありました。	職員は日々の活動や土曜イベントを充実させ、偏りがないう工夫しております。家族支援では保護者さまとお話しし、気持ちに寄り添い丁寧な対応を心掛けております。日頃から子どもの意思を大切に聞かせていただいております。	引き続き、現在の取り組みを継続し、子どもも保護者様も安心して利用して頂けるよう努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流、ご家族様同士の交流の機会が少ないと感じられている保護者様が多く、改善が必要だと感じております。	保護者様・ご兄弟も参加できるイベントは毎月実施し、家族間で交流する機会も提供しておりますが、参加されるご家庭に限られており、周知が不足している点がある事が要因だと考えます。	保護者様のニーズをお聞きし、内容・実施日時を工夫いたします。保護者様に活動内容を具体的に知らせ、周知の徹底を図り、イベント当日は参加するだけでなく、保護者様同士が交流する時間もてるよう配慮いたします。
2	各マニュアルを作成しており、保護者様に防災訓練の実施についてもお伝えしておりましたが、保護者様に伝わっていない部分があります。	毎月の防災訓練の内容を、お便りがメインでお伝えしていたため、保護者様に伝わりづらい点があった事が要因だと考えます。	文章だけではなく口頭でもお伝えし、共通認識を高めます。またひと月内の実施回数を増やし、防災訓練の経験を重ね、実施内容や子ども達のご様子を保護者様にお伝えし、認知度を上げて参ります。
3	地域の児童との交流について、「どちらともいえない」というご意見が多く見受けられました。	日頃から公共施設や公園などを利用したり、地域の方に教わる活動を実施しており、その際に関わる機会がもてておりますが、保護者様にそのご様子が伝わりづらい状況であった事が要因だと考えます。	戸外活動は、公共の場での過ごし方や他者との触れ合いが経験出来るため、社会性を育てる大切な機会と捉えております。今後も引き続き、地域の方と触れ合う活動を積極的に取り入れ、地域の方との交流がもてた時には保護者様への共有を確実にしない共通認識を深めて参ります。